



3分で読めるカキプロたより

かきのたね

無駄な習慣？「パスワード付き ZIP メール」廃止へ

平井デジタル改革担当相は去年 11 月の会見で、

中央省庁間で行われるメールでパスワード付きファイルを送り、パスワードを別送する方法 (PPAP) について、中央省庁で将来的に廃止すると発表。

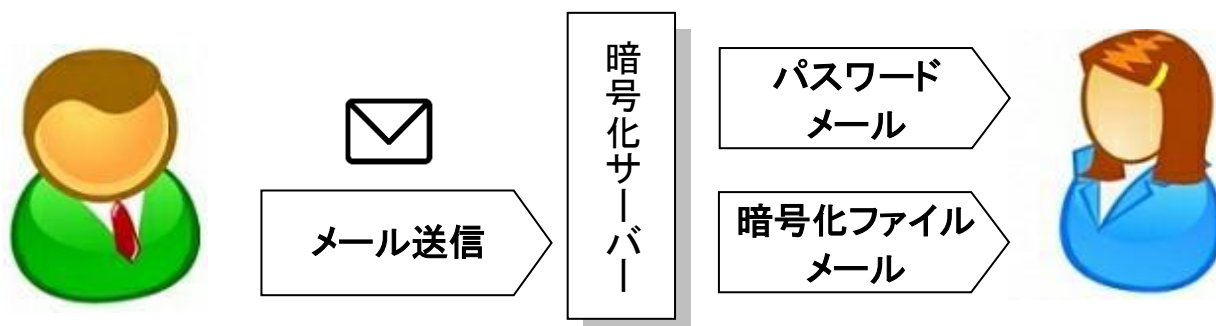
その「パスワード付き zip ファイル」+「パスワード別送」とはどういうものか？

書類など添付ファイルを送る際にメールで暗号化されたファイルを添付して送信後、

暗号化されたファイルを開くためのパスワードを知らせるために同じメールアドレスに数分後に再度送信するというもの。

同じメールアドレスに 2 度送信しているという点で昔からセキュリティ対策になっていないことは言われており、民間企業でも普及している。

自動暗号化メールの良い点は送信者が暗号化を忘れないという点だけで、情報漏えい対策としては万全ではないということは明らか。これからはクラウド経由が主流と予想されている。



スマホやタブレットで見ることができないメールはこれからの時代には無用の長物となる。

また最近ではマルウェア (悪意のあるソフトウェア) によってセキュリティリスクが高まっている。

もし会社の受信メールにウイルスが添付されていた場合、ネットワーク接続しているパソコンやサーバーに感染し情報漏えいやファイル破損、システム障害などの被害が予想されます。

調査業者に依頼すると多額の調査費用がかかることになるので、被害を未然に防ぐためにもメールやインターネット運用の社内ルールの整備、攻撃型メールに対する知識と訓練は必須だろう。

被害損失対策にサイバー保険の手当ても検討が必要ではないだろうか。

● ご相談先

株式会社カキプロ 本社 住宅サポート事業部

札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 2F 011-280-6580

株式会社カキプロ 大阪事務所

大阪市北区天満 1 丁目 6-8 六甲天満ビル 2F 06-6882-2680

「かきのたね」の名前は
カキプロのかきと情報=話しのたねを
かけてネーミングしました。
お客様が気軽にご相談できる代理店
を目指し発行しております。配信不要の
場合はメールにてご連絡ください。

発行者 湊 芳行
y-minato@kakipro.jp



3分で読めるカキプロたより

かきのたね

「グリーン住宅ポイント」で駆け込み需要はあるのか？

12月15日に閣議決定した2021年度第3次補正予算案にグリーン住宅ポイントが盛り込まれました。事業予算1100億円の事業目的は…

- ① 高断熱省エネ住宅の普及と空き家対策で環境負荷を軽減
- ② 省エネ住宅の普及で経済回復
- ③ ポイント発行交換で消費需要誘導
- ④ 災害リスクが高い地域から安全な地域への移住促進 が挙げられます。

期間は令和2年12月15日から令和3年10月31日までの契約

住宅の新築(持家)

対象住宅	発行ポイント	
	基本の場合	特例の場合*
① 高い省エネ性能等を有する住宅 (認定長期優良住宅、認定低炭素建築物、性能向上計画認定住宅、ZEH)	40万Pt/戸 +60万	100万Pt/戸
② 省エネ基準に適合する住宅 (断熱等級4かつ一次エネ等級4以上を満たす住宅)	30万Pt/戸 +30万	60万Pt/戸

* 特例の場合(以下のいずれかに該当)

- ・東京圏から移住^{※1}するための住宅
- ・多子世帯^{※2}が取得する住宅
- ・三世帯同居仕様である住宅^{※3}
- ・災害リスクが高い区域^{※4}から移住するための住宅

特例加算は

- ① 東京からの移住 ② 災害リスクが高い地域からの移住 ③ 多子多子世帯 ④ 三世帯住宅
また、注文住宅の住宅ローン減税は令和3年9月末の契約期限なので駆け込み需要が生まれるの
だろうか？

住宅ローン減税は2022年にはローンの金利分だけの税額控除になるため前倒しで住宅販売業者は消費者にどうアピールするか重要なポイントとなるだろう。

参照 国交省 HP

● ご相談先

株式会社カキプロ 本社 住宅サポート事業部

札幌市中央区大通西11丁目4大通藤井ビル2F 011-280-6580

株式会社カキプロ 大阪事務所

大阪市北区天満1丁目6-8 六甲天満ビル2F 06-6882-2680

「かきのたね」の名前は
カキプロのかきと情報=話しのたねを
かけてネーミングしました。
お客様が気軽にご相談できる代理店を
目指し発行しております。配信不要の
場合はメールにてご連絡ください。

発行者 湊 芳行
y-minato@kakipro.jp